

## ③ 果樹

## プロジェクト

世界に誇る「青森りんご」の次世代への継承

## 目標

- ・りんご生産量 R6：37万トン →R10：40万トン
- ・高密度栽培の面積 R4：27ha → R10：150ha

## 挑戦する内容

- ・青森りんご総合戦略検証会議の設置と対話に基づく取組の展開
- ・生産力強化緊急対策
- ・りんごマルバ園等の高品質・省力化
- ・高密度栽培の拡大

関係者の声  
=対話

- ・生産量40万トン以上の確保には、関係者一丸となった取組が必要（総合戦略検討委員）
- ・人口減少に伴う労働力不足を見据え、生産面積の大半を占める既存のマルバ園・わい化園の生産性向上に向けた取組が必要（生産者・流通事業者）
- ・高密度栽培の普及拡大には、本県の環境に適した技術の確立、機械化等による更なる省力化や、苗木・台木の安定供給等といった課題解決が必要（生産者）

## 役割分担

- ・生産者、生産者団体、JA、流通事業者等 : 人口減少下における高品質りんごの安定生産  
省力技術の開発普及、新規就農者の定着支援
- ・産技センター : 新品種開発、台木増産、技術支援
- ・種苗業者 : 苗木の増産等による安定供給
- ・市町村、関係団体等 : 総合戦略に掲げる取組の推進に向けた協力
- ・県 : 総合戦略検証会議の事務局、取組全体の進行管理

## 変革後の姿

- ・高品質かつ省力的な栽培技術の確立に加え、伝統的なマルバ園と先進的な高密度植園が共存する生産基盤を構築し、国内果樹農業をけん引するりんご産地であり続ける

## 令和8年度計画

## 挑戦する内容

- 1 青森りんご総合戦略検証会議の設置と対話に基づく取組の展開
  - ・生産、販売、流通等の関係者、有識者からなる青森りんご総合戦略検証会議の設置と対話に基づく検討
  - ・担い手対策等を検討する作業部会の設置と対話に基づく検討
- 2 生産力強化緊急対策
  - ・DNAマーカー等の導入による高温でも着色しやすい品種等の開発の加速化（りんご研）
  - ・りんご苗木・台木の増産支援
  - ・衛星とAIを活用したデジタル技術による生産面積調査のモデル実証
- 3 りんごマルバ園等の高品質・省力化
  - ・整列樹形化に向けたマルバ園地等の改植支援  
【重点エリア（農林水産事務所別ミッション）】中南地域
  - ・整列樹形化に要する油圧ショベルの導入支援
  - ・省力機械の実証試験
  - ・青森県りんご協会が行う生産者指導等の支援（新規就農者への支援を含む）
- 4 高密度栽培の拡大
  - ・高密度栽培の実践農業者等が行う研修会等の取組への支援  
【重点エリア（農林水産事務所別ミッション）】中南地域
  - ・高密度栽培実習農場の管理運営等（りんご研）
  - ・大規模法人等で構成する機械化実証コンソーシアムの設置
  - ・収穫作業機の導入実証



りんご台木用品種育成ほ場

## 対話

- ・青森りんご総合戦略検証会議の開催（4月、2月）
- ・担い手対策等を検討する作業部会の開催（3回）
- ・青森りんご産業界関係者への個別ヒアリング等（随時）